

令和2年度第1回千葉県図書館協議会次第

日 時 令和2年8月6日（木）
午後2時から
場 所 千葉県文化会館 第3会議室

1 開 会

2 議長あいさつ

3 議 事

（1）令和元年度事業報告及び令和2年度事業計画について（報告）

（2）千葉県立図書館行動計画（平成30～令和2年度）の進捗状況について（報告）

（3）その他

4 その他

5 閉 会

千葉県図書館協議会委員名簿(第35期)

任期 令和元年7月22日～令和3年7月21日

番号	委員の区分	氏名	役職等	新任再任の別	備考
1	学校教育関係者	おおくぼ はじめ 大久保 一	八街市立八街北中学校教頭 (千葉県教育研究会 学校図書館教育部会会長)	再任	
2	学校教育関係者	つかだ こういちろう 塚田 高一郎	千葉県立八千代東高等学校校長 (千葉県高等学校教育研究会 学校図書館部会会長)	新任	
3	学校教育関係者	こいずみ たかし 小泉 卓史	前学校法人市川学園 市川中学校・市川高等学校 第三教育部長・第三教育センター長	再任	
4	社会教育関係者	さかぐち そのこ 坂口 園子	柏市地域づくり推進部藤心近隣センター所長 (前千葉県公民館連絡協議会副会長)	新任	
5	社会教育関係者	おの ひみこ 小野 日実子	四街道市立図書館長 (千葉県公共図書館協会監査役)	新任	
6	家庭教育関係者	やぐち もりあき 矢口 盛明	千葉県PTA連絡協議会本部役員	新任	
7	家庭教育関係者	な 嘉 けいこ 名嘉 圭子	千葉県特別支援学校PTA連合会会長	新任	
8	学識経験者	きとう もとこ 佐藤 宗子	千葉大学教育学部教授	再任	
9	学識経験者	たけうち ひろや 竹内比呂也	千葉大学副学長・附属図書館長 (千葉大学人文科学研究院教授)	再任	
10	学識経験者	たかいし たかし 高石 卓	千葉信用金庫理事 (元千葉県立中央図書館館長)	再任	

令和2年度 県立図書館幹部職員一覧

中 央	西 部	東 部
館 長 エノモト リュウジ 榎本 隆二	館 長 アタカ ヒトシ 安宅 仁志	館 長 カマガタ サチオ 鎌形 佐知夫
副館長 アカスマ テサト 赤沼 知里	副館長 オシザワ ヒロコ 押澤 裕子	副館長 オオイシ ユカ 大石 豊
庶務課長 ヤマモト エミコ 山本 恵美子	庶務課長 オカヤマ タカコ 岡山 貴子	庶務課長 サイノウ リエ 齋藤 利恵
読書推進課長 オオモリ サヤカ 大森 明香	読書推進課長 ワカモト トモコ 若本 朋子	読書推進課長 オシダリ テツヤ 忍 足 哲也
資料管理課長 スギヤマ ユウコ 杉山 裕子	資料管理課長 ヤマデラ エイコ 山寺 映子	資料管理課長 ナカノ アキコ 中野 晶子
ちば情報課長 ヤマダ ヒロコ 山田 浩子		
図書館連携課長 タマイ ヤヨイ 玉井 弥生	図書館連携課長 押澤裕子副館長 事務取扱	図書館連携課長 イシジマ ジュンコ 飯島 純子

令和元年度事業報告及び令和2年度事業計画

(令和2年度要覧抜粋)

II 令和元年度事業報告

【概況】

県立図書館は運営方針に基づき、3館の密接な連携により、市町村立図書館等への援助、県内の中核的調査研究図書館としての情報・資料の提供、図書館未設置市町村の読書施設に対する資料援助や運営相談及び職員研修、高等学校・大学及び類縁機関等との連携など幅広い図書館活動を行った。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3館とも、3月3日（火）から臨時休館し、特設窓口にて予約図書の出しを行った。

図書館事業概要

項目		館名	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合計
資料整備	資料総数	受入冊数	8,250冊	3,176冊	4,465冊	15,891冊
		(内購入冊数)	(5,244冊)	(2,297冊)	(3,845冊)	(11,386冊)
		購入費	21,185千円	13,200千円	17,615千円	52,000千円
	蔵書数	866,488冊	281,787冊	290,807冊	1,439,082冊	
新聞・雑誌・法規集	78紙・3,740誌・3種	38紙・542誌・0種	22紙・259誌・0種	138紙・4,541誌・3種		
サービス業務	利用状況	入館者数	55,077人	137,518人	128,574人	321,169人
		登録者数	13,953人	15,526人	8,651人	38,130人
		個人貸出	46,293冊	45,789冊	29,787冊	121,869冊
	資料複製サービス	75,412枚	31,147枚	6,498枚	113,057枚	
	参考調査 照会・質問	7,474件	4,726件	6,503件	18,703件	
協賛	県立図書館蔵書貸出冊数	43,388冊	16,138冊	33,910冊	93,436冊	
	市町村立図書館等蔵書の相互貸借冊数	47,856冊	34,979冊	14,208冊	97,043冊	
管内人口(令和2年4月1日)						6,280,344人

《備考》 蔵書数にはマイクロ資料、視聴覚資料を含む。

市町村立図書館等蔵書の相互貸借冊数は半期ごとに集計。

【業務内容】

第1 県内図書館の中核としての役割

1 市町村の読書環境充実のための支援

(1) 資料搬送ネットワークの維持・改善(図書館協力業務)

「読書県ちば」を目指し、市町村立図書館及び図書館未設置市町村公民館図書室等に対して、相互貸借資料の搬送や運営相談、協力レファレンス等の援助を行った。また、高等学校・大学及び類縁機関等と連携し、読書活動の充実に努めた。

ア 資料の図書館間貸出し

市町村立図書館及び図書館未設置市町村公民館図書室等の求めに応じて、資料の図書館間貸出しを行った。

イ 図書館連絡車・協力車巡回

業者委託により県立図書館3館の間で連絡車を巡回させ、県内の全ての市町村立図書館等に対して週1回定期的に協力車を巡回し、県立図書館及び市町村立図書館等の相互貸借資料を搬送した。

ウ 協力レファレンス

市町村立図書館等からの所蔵調査・資料調査・事項調査等の調査・相談等に対し、外部データベースや図書館資料を使って支援を行った。

エ 図書館未設置市町村支援

図書館未設置市町村の公民館図書室など読書施設に対し、資料の貸出しや協力レファレン

ス、教科書単元・テーマ別資料リスト・図書見本の紹介〈中央〉、運営相談等の支援を行った。訪問時に教科書単元・テーマ別資料リストの他に、小・中学校教科指導で使える資料リスト（「千葉県の民話」「千葉県の偉人」）を持参し、自治体の小・中学校等への周知を依頼するなど広報活動をしたこともあり、小・中学校からは783冊の依頼があった。（前年度654冊）

オ 担当者会議の開催

市町村立図書館等の相互協力担当職員を対象に、相互協力業務の確認や情報交換を行い、相互協力の円滑な推進を図るための会議を開催した。

- ・中央図書館（市町村立図書館相互協力担当者会議 4月24日（水）41人出席）
- ・西部図書館（管内市立図書館相互協力担当者会議 5月21日（火）29人出席）
- ・東部図書館（市町立図書館等相互協力担当者会議 5月31日（金）18人出席）

カ その他

県立図書館ホームページの「図書館員のページ」に、研修の内容や資料をその都度掲載し、不参加であっても研修内容等を確認できるようにした。

（2）図書館運営相談

全市町村を訪問し、各図書館の課題等について運営相談を行った。図書館の管理・運営やサービスに関する質問を市町村立図書館等から受け付けるとともに、定期的に施設訪問し、図書館運営相談等に応じた。

- ・中央図書館（電話やメールでの相談：16回、奉仕対象市町村への訪問相談：年1回、希望のあった館について2回目の運営相談を実施した。）
- ・西部図書館（図書館運営相談訪問：各館1回）
- ・東部図書館（13市町の図書館及び公民館図書室等16施設に対し、延べ32回の運営相談を実施した。）

（3）その他

ア 新聞・雑誌総合目録の整備

千葉県公共図書館協会加盟の市町村立図書館等や、文書館行政資料室、県立保健医療大学図書館、さわやかちば県民プラザで所蔵する新聞や雑誌の総合目録を更新してホームページ上で公開した。

イ 県内図書館の災害による休館・被害状況の公開

令和元年房総半島台風（台風15号）、令和元年東日本台風（台風19号）及び新型コロナウイルス感染症による市町村立図書館等の被害・休館状況について、調査し、ホームページで公開した。

ウ 読書活動支援

県内の読書活動を推進するため、市町村立図書館等と連携し、読書グループ関係団体への支援協力を行った。また、千葉県読書グループ連絡会に協力して、千葉県読書グループ研修会の開催を支援した。さらに、読書会用テキストとして、同一タイトル10冊をセットにした十冊文庫を整備した（総タイトル数691）。

エ 資料の巡回展示〈東部〉

東部図書館で実施した資料展示の資料を中心に、希望するテーマの資料を一括して市町村立図書館、公民館図書室、学校図書館等に貸出し資料展示をしてもらう巡回展示を、8施設と1校に21回実施した。

2 図書館職員の研修センター

(1) 職員の資質向上

県立図書館職員の資質向上を目的に館内研修を計画的に実施するとともに、国立教育政策研究所主催の図書館司書専門講座を始めとした外部研修会等への職員派遣を積極的に行った。

(2) 研修業務

市町村立図書館職員等の資質向上を図るため各種の研修会を実施し、市町村立図書館等への援助機能の充実に努めた(延べ 20回開催、598人参加)。各研修時のアンケート結果を分析し、課題を集約した。また、運営支援の一環として、全ての県内図書館等読書施設の職員が、図書館サービス向上のための研修を受けられるよう、千葉県公共図書館協会と連携した研修プログラムの開発に積極的に取り組んでいる。

【中央図書館】

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
公共図書館新任職員研修会	5月15日(水)	「公共図書館の役割、利用サービス、障害者サービス、レファレンスサービス、児童サービス及び相互協力業務等」 講師 当館職員 会場 県立中央博物館	43人
公共図書館中堅職員研修会	10月8日(火)	「図書館における問題利用者への対応について～リスクマネジメントの視点から～」 講師 関東学院大学社会学部 准教授 千錫烈氏 会場 県立中央博物館	50人
図書館長研究協議会	11月6日(水)	講演1 「USJのアイデア発想法を参考にした企画・イベント展開」 講師 杉戸町生涯学習センター所長・杉戸町立図書館長 小暮雅顕氏 講演2 「当事者からみた視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)」 講師 県立西部図書館職員 会場 県文化会館	45人
児童サービス基礎研修会 全5回	6月26日(水)	第1回 「児童奉仕概論」 講師 佐倉市立志津図書館 小廣早苗氏 会場 県文化会館	42人
	7月2日(火)	第2回 「おはなし会の運営について」 演習 「絵本の読み聞かせ」 講師 当館職員 講師 「ノンフィクションの選書について」 市川市中央図書館 高柳公香氏 会場 県文化会館	42人
	7月12日(金)	第3回 「絵本・物語の選書」 講師 館山市図書館 飯田朋子氏 会場 県文化会館	41人
	9月18日(水) 午前	第4回 「レファレンスサービスについて」 講師 当館職員 会場 県文化会館	39人
	9月18日(水) 午後	第5回 「図鑑の調べ方・使い方」 講師 県立中央博物館 齋木健一氏 会場 県文化会館	54人

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
地域行政資料研修会	10月18日(金)	第1回「地域行政資料の探し方入門」 講師 当館職員 「菜の花ライブラリーの解説」 講師 当館職員 「地域行政資料の探し方 ひとり一問一答」 講師 当館職員	17人
	2月6日(木)	第2回 講義「国立国会図書館東日本大震災アーカイブ ひなぎくについて」国立国会図書館電子情報部 電子情報流通課 入江康紀氏 事例発表「浦安市立図書館の取り組み 浦安震災アーカイブ」浦安市立中央図書館 図書資料第二係 居倉英夫氏 事例発表「千葉県立図書館の取り組み 東日本大震災千葉県関連サイト」千葉県立中央図書館 ちば情報課 神林彩司書 視察 県総合教育センター カリキュラムサポート室の見学 会場 県総合教育センター	18人
レファレンス研修会 (レファレンスサービス基礎研修)	6月21日(金)	「レファレンスサービス実践の基礎」 「インターネットを活用した調べ方」 「レファレンス演習/参考図書及びインターネット情報源解題」 講師 当館職員	29人
レファレンス研修会 (レファレンスサービス専門研修)	1月22日(水)	「情報検索スキルのレベルアップ」 講師 亜細亜大学国際関係学部 教授 安形輝氏 「Japan Knowledgeの活用法」 講師 株式会社ネットアドバンス Japan Knowledge担当者 会場 県立東部図書館	4人
課題解決支援 サービス研修会	11月22日(金)	講義「Wikipedia編集について 概要説明」 講師 Wikipedia日本語版編集者 海瀬氏 グループ演習「WikipediaTown体験をしてみよう」、「Wikipedia編集」 会場 県立中央博物館	18人

【西部図書館】

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
公共図書館新任職員研修会	5月24日(金)	「公共図書館の役割、利用サービス、レファレンスサービス、児童サービス及び相互協力業務等」講師 当館職員	33人
障害者サービス研修会 全2回	7月10日(水)	第1回 障害者サービスを始めるための基礎の基礎 ア 講義「公共図書館の障害者サービスの理念・各サービスの紹介と具体的実施方法」 講師 当館職員 イ 演習「障害者サービス用資料について、サビエ図書館体験」 講師 当館職員 ウ 館内見学・質疑応答・情報交換・基本的な手話の体験	20人
	7月24日(水)	第2回 ア 講義「発達障害者が求める読書 当事者の視点から 知的障害者や読字障害者が読める読書方法について」 講師 岐阜市立島小学校主幹教諭 神山忠氏 イ 情報交換会・質疑応答	34人
課題解決支援サービス研修会	10月16日(水)	講演「公共図書館の多文化サービス」 講師 日本図書館協会多文化サービス委員会委員 平田泰子氏 事例発表①「千葉県の多文化共生の現状と施策について」 発表者 千葉県総合企画部国際課多文化共生推進班長 山崎聡子氏 事例発表②「外国につながりを持つ人々と図書館を結びつけるために」 発表者 むすびめの会〈図書館と多様な文化・言語的背景をもつ人々をむすぶ会〉加藤佳代氏 事例発表③「多言語よみきかせ～実演と方法～」 発表者 「多言語絵本の会RAINBOW」代表 石原弘子氏 実演協力者 白金蓮氏、レ・ティ・キム・フェン氏、藤沢明美氏	23人

【東部図書館】

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
公共図書館新任職員研修会	5月22日(水)	「公共図書館の役割、利用サービス、レファレンスサービス、児童サービス及び相互協力業務等」講師 当館職員	6人
学校図書館運営研修会	7月30日(火)	「学校図書館の活発な利用」 講師 当館職員	12人
課題解決支援サービス研修会	1月9日(木)	「図書館を守るために～自然災害に備える～」 講師 一級建築士 (株)栗原研究室代表取締役設計室長 日本図書館協会図書館災害対策委員会委員 ・図書館施設委員会委員 川島宏氏	28人

第2 子どもの読書活動の推進

1 子どもの読書活動の推進拠点

(1) 子どもの読書活動推進センター機能の充実

読み聞かせボランティア入門講座を長南町、多古町で開催、読み聞かせ講座をさわやかちば県民プラザと共催で開催した。また、県教育委員会主催の「千葉県子ども読書の集い」、「公立図書館と学校の連携を図るための研修会」に参加し、市町村の求めに応じて研修・講座の講師として職員を派遣する（2回）など、関係機関・団体等との連携推進を図り、子どもの読書活動推進センター機能の充実に努めた。

(2) 来館者サービス

資料の貸出し、子どもからの調査相談、読書相談及び児童資料・子どもの読書活動に関する大人からの調査相談のほか、定例おはなし会や親子で楽しむえほんの会、冬のおはなし会を開催した。また、「子育て支援情報コーナー」の資料や情報の充実を図った。子育てに関する新着図書案内を作成し、館内で配布した。また、生涯学習課や子育て支援課と連携し、子育てに関するパンフレット等の収集、提供を進めた。〈中央〉

(3) 市町村立図書館等への支援

市町村立図書館等への資料の貸出しや調査相談、運営相談を行った。

「児童サービス基礎研修会」を開催し、市町村立図書館等の児童サービス担当職員の養成に努めた。〈中央〉

(4) 読み聞かせボランティアの養成

「読み聞かせボランティア入門講座」を開催するとともに、学校図書館が実施する子どもの本の読み聞かせボランティアを養成する講座等に講師として職員を派遣した。〈中央〉

(5) 出張おはなし会

博物館等関係機関で開催するイベント等に協力し、職員が出向いて、おはなし会や読み聞かせを行った。〈中央〉

(6) ヤング・アダルトサービスの実施

県立図書館ホームページ内のヤング・アダルトサービスのページの充実に努めた。〈中央〉

(7) 障害者用資料の製作

児童資料の点訳絵本等を製作した。〈中央〉

(8) 広報・啓発業務

- ・子ども読書の日記念展示の開催
- ・子ども読書の日おはなし会の開催 〈中央〉
- ・県教育委員会主催の「千葉県子ども読書の集い」への出展、「公立図書館と学校の連携を図るための研修会」での広報・事業説明 〈中央〉

2 学校図書館への支援

(1) 高等学校・特別支援学校向け貸出用資料の整備

「高等学校・特別支援学校用セット」を令和元年度は新規11セット、312冊を整備した。総セット数 132セット、総冊数3,547冊

県立図書館の学校支援事業を周知し、活用を促すために、様々な機会を捉えて事業説明を行った（県立学校長会議・特別支援学校副校長・教頭会議、学校図書館担当者会議、指導行政連絡会議、県総合教育センター初任者研修・経験者研修等）。

(2) 資料の貸出し・運営相談等

県内の高等学校・特別支援学校等と連携し、資料提供や協力レファレンス、研修等を行った。
資料搬送方法：協力車（西部・東部）、宅配便（中央・西部（協力車未巡回校））

また、高等学校、特別支援学校の運営相談を行った。

- ・中央図書館（実施なし）
- ・西部図書館（高等学校（管内2校）、特別支援学校は、訪問読書支援の際に、併せて実施。）
- ・東部図書館（奉仕対象地域内の高校21校及び特別支援学校6校、大学2校に対し、延べ58回の運営相談を実施した。）

【中央図書館】

ア 宅配便による資料搬送 登録校 74校

中央図書館の利用未登録高校・特別支援学校13校へ事業説明を行い3校が新規登録した。
要望の多い貸出セットや買換が必要なセットについて調査検討を進めた。

イ 高等学校への講師派遣

保育等への進路を希望する生徒や図書委員会活動への支援のため、高等学校等へ絵本の読み聞かせについての講師として職員を派遣した。

（延べ11校 派遣先：市川南高、国府台高、四街道高、柏井高、市原高、市原八幡高、千葉女子高、松戸六実高、津田沼高、松戸高、犢橋高）

ウ 小・中学校図書館との連携・支援

近隣中学校への出前授業を実施した（1校 延べ159人）。

小中学校図書館には市町村立図書館等を通しての資料貸出しを行った。また、学習でも使える千葉県の話リストについて、広く活用してもらえるよう、研修会等で広報を行った。

小学校の教科書単元・テーマ別資料リスト（理科・社会）を作成・公開するとともに、運営相談時に市町村読書施設等へ紹介した。

【西部図書館】

ア 宅配（ゆうパック）による資料搬送（管内協力車未巡回校対象）登録校22校

イ 西部エリアの利用未登録高校・特別支援学校へ事業説明を行い2校が新規登録した。

ウ 高等学校図書館相互協力担当者会議の開催（6月18日（火）35人出席）

【東部図書館】

ア 協力車巡回による資料搬送

イ 学校図書館運営研修会の開催（7月30日（火）12人出席）

ウ 海匝地区指導行政連絡会議に参加し、県立図書館の学校支援について説明した。

(3) 特別支援学校への訪問による読書支援

【中央図書館】

8校を訪問し、読み聞かせ等を行った。

【西部図書館】

管内の学校に希望調査を行い、希望のあった7校に対して、訪問読書（読み聞かせ）を行うとともに、2校の高等部で「図書館の使い方」の授業を実施した。

【東部図書館】

絵本の読み聞かせを中心とする「おはなし会」を5校で実施した。

第3 課題解決支援図書館機能の充実

1 調査研究に役立つ資料の収集と情報の提供

(1) 県立全館の資料整備

県民の調査研究活動を支援し、市町村立図書館等及び高等学校等への協力・援助を行うため、3館が連携・分担して収集、整備した。なお、電子書籍については、電子出版制作・流通協議会の発表などを参考としながら、動向調査を進めた。

資料整備実績

区分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合計
購入図書資料	5,244 冊	2,297 冊	3,845 冊	11,386 冊
寄贈図書資料	3,006 冊	879 冊	620 冊	4,505 冊
千葉県関係資料	1,815 冊	519 冊	214 冊	2,548 冊
逐次刊行物 (購入)	152 タイトル	279 タイトル	194 タイトル	625 タイトル

(2) 資料の保管

収集資料を継続的・効率的に維持保存・利用するため、蔵書点検（2月12日～2月21日）を行った。

(3) 市町村立図書館等除籍資料の保存

県内の最終的な保存図書館として、市町村立図書館等の除籍資料を収集した。

区分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合計
図書	121 冊	0 冊	242 冊	363 冊
雑誌	69 冊	621 冊	0 冊	690 冊

(4) 電算業務

・業務系システム

県立図書館の電算システムは、昭和59年度から開発した独自システムを西部図書館開館時（昭和62年）に導入したのが最初である。平成8年度には同システムの改良版を中央図書館に、また、平成10年度に開館した東部図書館にも導入することにより、3館独自の電算システム運用体制が整備された。その後、平成19年から、3館のシステムを統合した「千葉県立図書館統合電算システム」に移行し、中央図書館が管理・運用を行っていた。平成24年11月、電算システムを一新（契約：NECキャピタルソリューション開発：日本電気株式会社）し、更に機能を充実させた「千葉県立図書館情報システム」を導入し、現在は2期目に入っている。

《電算システムの概要》

館名	現行システム（平成29年11月更新）				電算システムの導入時期
	機器名	基本ソフト名	端末機器(台)(※3)		
			業務用	利用者用	
中央	日本電気(株) Express 5800 (※1)	LiCS-Web II	41	20	平成8年
西部			32	26	昭和62年
東部			27	23	平成8年(※2)

(※1) 本体は外部に設置している (※2) 東部図書館は開館準備時から導入

(※3) 他に研修用21台、予備5台

・インターネット系システム

平成13年から導入した図書館ホームページでは、所蔵資料の検索・予約、県内図書館横断検索（51機関、69コンテンツ）、メールレファレンスの受付などのほか、図書館からの様々な情報発信を行っている。

（ホームページへのアクセス件数 327,987件）

《横断検索参加自治体及び施設一覧》

（令和2年3月末現在）

自治体 (35市2町1村)	[中央エリア] 千葉市、市原市、習志野市、八千代市、佐倉市、成田市、四街道市、八街市、富里市、茂原市、勝浦市、館山市、鴨川市、南房総市、木更津市、君津市、袖ヶ浦市、酒々井町、長生村
	[西部エリア] 市川市、船橋市、浦安市、松戸市、柏市、野田市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市、印西市、白井市
	[東部エリア] 銚子市、香取市、匝瑳市、旭市、東金市、山武市、大網白里市、横芝光町
大学（4）	千葉大学附属図書館、千葉科学大学図書館、城西国際大学水田記念図書館、放送大学附属図書館
専門（2）	アジア経済研究所図書館、財団法人成田山仏教図書館
県類縁施設（3）	千葉県文書館、千葉県総合教育センター、千葉県立博物館
その他（4）	国立国会図書館、国立情報学研究所、科学技術振興機構、日本出版インフラセンター

・その他システム

平成24年度から3館で公衆無線LANサービスを導入している。

2 調査研究や政策形成の支援

(1) 調査相談業務（レファレンスサービス）

ア 調査回答

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等の所蔵資料、インターネット情報源、商用データベース等を活用し、口頭や電話、メール、文書等による個人や市町村立図書館等からの調査相談に對し的確に回答した。

イ パスファインダー（調べ方案内）、ブックリスト等の作成

県民ニーズを把握し、県民が関心を持つテーマに関する調べ方を紹介するパスファインダーを作成した（新規5件、改訂10件）。

また、時事問題等に関する新たな情報提供サービスを開始し、「図書館から世界（ニュース）が見える」を4号発行した。

「災害ストレスとメンタルヘルス」「祝！ノーベル化学賞受賞！吉野彰氏」「新元号「令和」」など各館で時宜に合った展示を定期的に行うとともに、ブックリストを作成、提供した。並びに、「音楽がもっと楽しくなる本」「千葉で食べよう！夏の野菜と果物」など児童書関連の展示リスト11件、教科書単元・テーマ別資料リスト4件を作成した。

〈調べ方案内(パスファインダー) 令和元年度作成・改訂一覧〉

テ ー マ	作 成 館
官報を調べる (改訂)	中央図書館
千葉県の「地名」について (改訂)	〃
千葉県の「市町村」について (改訂)	〃
新聞記事を探す (改訂)	〃
千葉県の「高校野球」について (改訂)	〃
スポーツについて調べる	〃
世界の昔話について調べる	〃
雑誌を探す (改訂)	〃
雑誌記事・論文を探す (改訂)	〃
野鳥について調べる	西部図書館
食中毒を予防する (改訂)	〃
和歌を探す	東部図書館
短歌を探す	〃
農業の調べ方 1 野菜園芸 (改訂)	〃
農業の調べ方 2 花卉園芸 (改訂)	〃

〈図書館から世界 (ニュース) が見える 令和元年度作成一覧〉

テ ー マ	作 成 館
児童虐待から子どもを守る	中央図書館
プラスチック汚染 1 現状・課題編	西部図書館
プラスチック汚染 2 対策・事例編	〃
I R (統合型リゾート)	東部図書館

ウ レファレンス事例の公開

調査回答事例の中から公開用事例として81件を国立国会図書館レファレンス協同データベースに提供し、県民がホームページで閲覧できるよう登録した。

エ 国立国会図書館の提供する「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の利用

「図書館向けデジタル化資料送信サービス」が調査研究に活用されるよう県民への広報を行うとともに、資料の提供、複写サービスを行った。

オ オンラインデータベースの拡充

県民の多様なニーズに応えられるよう、オンラインデータベースの拡充を図り、先進館の導入事例などを参考に県民の調査・研究の役に立つデータベースを選定し、令和元年度から運用を開始した。

カ 課題解決支援の取組と講座の開催

中央図書館では、「暮らしに役立つ法律・判例情報コーナー」の法律・判例関係資料の充実、関連情報の提供に努めた。西部図書館では、「医療・健康情報コーナー」の充実、関連情報の提供に努め、国立がん研究センターから寄贈されたがんに関する資料を設置した。東部図書館では、シニアの暮らしに役立つ資料の充実、関連情報の提供に努めた。

また、中央図書館では、県民向けの課題解決支援講座「暮らしに役立つ法律・判例情報講座」(2回)やデータベース活用講座(2回)を開催した。西部図書館では、県民向けの課題解決支援講座「健康・医療情報講座」(1回)、データベース活用講座(2回)を開催した。東部図書館では、県民向けの課題解決支援講座「はつらつライフ講座」(1回)、データベース活用講座(1回)を開催した。

〈課題解決支援講座（一般向け）〉

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
【中央図書館】 くらしに役立つ法律・ 判例情報講座	12月8日(日)	「消費者トラブル」 講師 法テラス千葉法律事務所 司法書士 沖邦彦氏 会場 成田市立図書館	5人
	12月18日(水)	「改正民法・公務員法も調べられる！法情報 データベースの活用法」 講師 第一法規株式会社 山内享郎氏	9人
【中央図書館】 データベース活用講座	6月15日(土)	「菜の花ライブラリー活用講座」 講師 当館職員	6人
	10月30日(水)	「新聞・雑誌記事データベース「ELNET」 の使い方と活用方法」 講師 株式会社エレクトロニック・ライブ ラリー 営業部 林田孝洋氏	11人
【西部図書館】 健康・医療情報講座	7月13日(土)	講演「大腸がんの早期発見と治療」 講師 松戸市立総合医療センター 消化器 内科 医師 副部長 武田晋一郎氏 講演「がん相談支援センターについて」 講師 松戸市立総合医療センター がん診 療対策室 相談員 矢野麻衣子氏 (松戸健康福祉センターとの連携)	39人
【西部図書館】 データベース活用講座	7月27日(土)	「書庫見学会・菜の花ライブラリー活用講座」 (第1回) 講師 当館職員	3人
	11月9日(土)	(第2回) 講師 当館職員	24人
【東部図書館】 データベース活用講座	9月14日(土)	「菜の花ライブラリー活用講座」 講師 当館職員	3人
【東部図書館】 はつらっライフ講座	10月4日(土)	「生活習慣病・糖尿病について」 講師 総合病院国保旭中央病院 管理栄養士 岡本莉奈氏	19人

(2) 閲覧業務

ア 資料の館内利用・貸出し

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等所蔵資料や、県内外の他の公共図書館及び国立国会図書館、大学図書館等からの相互貸借により、資料の提供や貸出し、複写サービスを行った。

イ 図書館への来館が困難な利用者に対する情報提供

自宅への図書の直接貸出を希望する県民（資料貸出券の発行を受けている方）に対して、郵送（送料自己負担）による図書（一部の資料を除く）の貸出し、返却サービスを平成30年9月から行っている。令和元年度は15件34冊の利用があった。

ウ 資料の展示

所蔵資料の特長を活かしたテーマを設定し、県民に広く周知するために、各館展示コーナー等を利用し、定期的に資料展示を行った。

〈資料展示（展示コーナー等による資料の紹介）〉

【中央図書館】

展示場所	展 示 名	期 間
千葉県資料室	震災の記録を図書館に	通年
新聞雑誌室	平成から令和へー資料で迎える千葉県の30年	4月20日（土）～5月16日（木）
	デジタルアーカイブの紹介ー菜の花ライブラリー（千葉県関係データベース）より その1	5月18日（土）～6月5日（水）
	デジタルアーカイブの紹介ー菜の花ライブラリー（千葉県関係データベース）より その2	6月6日（木）～6月29日（土）
	崙書房の歩みー新聞紙上で紹介された資料で迎える	6月30日（日）～7月18日（木）
	夏の高校野球、球児たちの軌跡	7月19日（金）～8月23日（金）
	浜口梧陵ー「稲むらの火」のモデル	9月3日（火）～9月29日（日）
	千葉県の祭りー受け継がれてきた伝統文化	10月12日（土）～11月14日（木）
	ちばの郷土料理ー地元の食材を活かした県内各地の「食」	11月21日（木）～12月19日（木）
	千葉県とオリンピックー2020オリンピック・パラリンピック東京大会に向けて	12月21日（土）～2月2日（日）
児童資料室	世界を知るための本 くらしの中の世界	4月2日（火）～5月16日（木）
	オリンピック・パラリンピックを調べる	5月18日（土）～6月20日（木）
	千葉で食べよう！夏の野菜と果物	6月22日（土）～7月12日（金）
	中央博物館との連携展示「本であおう いろいろなほにゅうるい」	7月13日（土）～9月23日（月）
	音楽がもっと楽しくなる本	9月25日（水）～10月17日（木）
	読書週間記念展示「図書館が出てくる本」	10月19日（土）～11月14日（木）
	時代を旅する本	11月16日（土）～12月28日（土）
	オリンピック・パラリンピック	1月5日（日）～1月26日（日）
	くうねるところにすむところ	1月28日（火）～2月11日（火）
	さがしにいこう！春の花	2月22日（土）～

※一般資料室にて「元号改正」「災害ストレスとメンタルヘルス」等のミニ展示を、通年で20回実施。児童資料室では「水の生き物」「きるもの・はくもの」等のミニ展示を通年で30回実施。

【西部図書館】

展示場所	展 示 名	期 間
正面玄関 及び館内	算数・数学ワールドへようこそ！	4月20日（土）～6月20日（木）
	お金にまつわるエトセトラ	4月20日（土）～5月16日（木）
	みずず読書アンケート特集	4月20日（土）～5月31日（金）
	How-to仏像	5月18日（土）～6月20日（木）
	化石と図鑑で見る大昔の動物と進化	6月22日（土）～9月19日（木）
	「がん」を考える	6月22日（土）～7月18日（木）
	隈研吾の仕事	7月24日（水）～8月11日（日）
	熱中症・スポーツ医学	8月12日（月）～8月25日（日）
	和の心でおもてなし	8月2日（金）～9月1日（日）
	夜空のなかに探すのは	8月1日（木）～8月31日（土）
	ラグビーW杯	9月8日（日）～9月29日（日）
	海鳥	9月21日（土）～12月19日（木）
	祝！ノーベル化学賞受賞！吉野彰氏	10月10日（木）～10月24日（木）
	暗号～エニグマVSチューリング	11月10日（木）～12月6日（金）
	神社	12月15日（日）～1月16日（木）
	水	12月21日（土）～2月11日（火）
	震災と心理学 阪神淡路大震災から25年	1月18日（土）～2月29日（土）
科学道100冊2019	2月22日（土）～5月14日（木）	

※カウンター前にて「ちば県民だより」トピックスのミニ展示を、通年で実施。

【東部図書館】

展示場所	展 示 名	期 間
展示 コーナー	東総地域の「ちば文化資産」	4月20日（土）～7月18日（木）
	人物・土地・作品で見る永井荷風	7月24日（水）～10月17日（木）
	ミステリーの世界へ、ようこそ	10月19日（土）～1月16日（木）
	第4回 旭いとおか文芸賞「海へ」によせて	1月18日（土）～4月16日（木）
資料紹介 コーナー	子どもが主人公の本	4月20日（土）～6月20日（木）
	海へ行こう！	6月22日（土）～8月15日（木）
	宇宙の本	8月16日（金）～10月17日（木）
	松本清張生誕110年	10月19日（土）～12月19日（木）
	明智光秀とその時代	12月21日（土）～2月11日（火）
文学賞	2月22日（土）～4月18日（木）	

※カウンター前にて「新元号「令和」」等のミニ展示を、通年で34回実施。

(3) 各種講座の開催

各種講座を実施し、県民の学習機会の拡充に努めた。

【中央図書館】

県民の読書活動の推進や課題解決を支援するため各種事業を実施するとともに、出版放送関係への情報提供としてNHK - FM放送番組に職員が出演し、本の紹介をした。

〈令和元年度実施事業〉

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
定例おはなし会	毎週土曜日 午後	全34回 語り手 当館職員	延べ105人
親子で楽しむえほんの会	隔月開催	7月12日(金)、11月8日(金)、1月10日(金) (3回) 語り手 当館職員	5人
読み聞かせボランティア入門講座	9月26日(木)	「絵本の読み聞かせ－選び方と読み方の実践－」 講師 ゆか下文庫・主宰 小谷孝子氏 ゆか下文庫 東ひろみ氏	25人
	1月30日(木)	会場 長南町中央公民館 講師 にんじん文庫・主宰 入交静氏 会場 多古町コミュニティプラザ	29人
読み聞かせ講座 (教職員向け・県民向け)	8月9日(金)	「読み聞かせにおける、絵本の選び方と読み方について」 講師 当館職員 [さわやかちば県民プラザ共催] 会場 さわやかちば県民プラザ	30人
ほにゅうるいのおはなし会	8月4日(日)	会場 県立中央博物館	5人
	8月11日(日)		18人
	8月25日(日)	語り手 当館職員	9人
冬のおはなし会	12月15日(日)	語り手 当館職員	31人
くらしに役立つ法律・判例情報講座		前掲	
データベース活用講座		前掲	
読書支援機器活用講座 全3回	8月1日(木)	第1回 音声読書器活用講座 講師 株式会社アメディア 望月優氏	11人
	8月22日(木)	第2回 拡大写本活用講座 講師 四街道拡大写本の会 渡部洋氏	10人
	9月10日(火)	第3回 拡大読書器活用講座 講師 株式会社システムギアビジョン 白瀧仁氏	8人
サピエ図書館活用講座	12月4日(水)	「サピエ図書館」の活用方法とその実践 講師 (株)ラビット 荒川明宏氏	11人
図書館音訳者養成講座	1月31日(金)	「聞きやすい録音図書を製作するために校正を学ぶ」 講師 音訳指導者 高橋久美子氏	10人

出版放送関係への情報提供

番組名	内容
NHK FM放送番組 「ひるどき情報ちば」内 「おすすめブック」出演	毎月第4火曜日、NHK千葉放送局FM放送「ひるどき情報ちば」にて、当館職員が県民の方々に読んで欲しい一般書や児童書を10回にわたり紹介した。

【西部図書館】

県民生活上の課題解決を支援するため、各種事業を実施するとともに、当館の特色（自然科学・工学）を生かした「サイエンス・カフェ」を開催した。

障害者サービスについては、「障害者のための資料デジタル化講座」等を開催し、読書相談など幅広い情報提供に努めた。

〈令和元年度実施事業〉

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
障害者のための資料デジタル化講座	6月14日(金)	第1部 講義・実習 図書のテキストデータ化の基本操作 講師 全国音訳ボランティアネットワーク テキスト訳者 吉岡真喜子氏 第2部 講義 「マラケシュ条約、読書バリアフリー法で何が変わるの？ ～大きく変わる障害者の読書環境～」 講師 筑波大学附属視覚特別支援学校教諭 宇野和博氏	22人 28人
サイエンス・カフェ	10月20日(日)	「海鳥目線でまるごと堪能！ 一房総の海の魅力」 講師 千葉県立中央博物館 平田和彦氏	24人
健康・医療情報講座		前掲	
図書館音訳者養成講座 (初級)	5月11日(土) 5月25日(土) 6月8日(土) 6月22日(土) 7月6日(土) 7月20日(土) 9月14日(土) 9月28日(土) 10月26日(土) 11月9日(土) 11月16日(土) 11月30日(土)	第13回「障害者にとって聞きやすい音訳とは」 「録音資料製作マニュアルの概説(1)」 講師 当館職員 第14回「カッコや記号等の入った文章の読み(1)」 講師 新宿区立図書館音訳者 南部優子氏 第15回「カッコや記号等の入った文章の読み(2)」 講師 音訳指導講師 恵美三紀子氏 第16回「写真・表紙・流れ図等の読み」 講師 西部図書館音訳者 安原素子氏 第17回【実技】デジタル録音機器の操作(1) 講師 音訳指導講師 恵美三紀子氏 第18回【実技】デジタル録音機器の操作(2) 講師 新宿区立図書館音訳者 南部優子氏 第19回 小説文の読み(1) 講師 新宿区立図書館音訳者 南部優子氏 第20回 小説文の読み(2) 講師 音訳指導講師 高橋久美子氏 第21回 随筆文等の読み 講師 音訳指導講師 高橋久美子氏 第22回 書庫見学会・データベース講習会 録音資料製作マニュアルの概説(2) 講師 当館職員 第23回 いろいろな文章の読み 講師 音訳指導講師 高橋久美子氏 第24回【実技】対面朗読の実際 講師 音訳指導講師 恵美三紀子氏	延べ218人
データベース活用講座		前掲	

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
障害者のための読書支援機器活用講座	1月22日(水)	講演「弱視者から全盲者まで 様々な不便さを解消するためのスマートフォン&タブレットの使い方を教えます」 講師 MDSiサポート代表 井上直也氏 事例発表「千葉県立図書館で利用できる読書支援機器について」 講師 当館職員	29人

【東部図書館】

県民の読書活動推進のため「歴史講座」を開催するとともに県民生活上の課題解決を支援するために「はつらっライブ講座」、「データベース活用講座」を開催した。

また、図書館利用の拡充を図るために、書庫見学と検索演習を行う「図書館ナビ」を実施した。障害者サービスについては、音訳者の意義と役割について基礎的な知識を習得するために「図書館音訳者養成講座」を開催した。

〈令和元年度実施事業〉

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
図書館音訳者養成講座	10月9日(水)	「DAISY録音・編集入門」 講師 株式会社ラビット代表取締役 荒川明宏氏	9人
歴史講座	11月8日(金)	「江戸時代のアウトローと関八州取締」 講師 千葉県文書館嘱託職員 児玉憲治氏	58人
図書館ナビ	第4土曜	全4回 検索演習又はデータベース講座と書庫見学	延べ7人
データベース活用講座		前掲	
はつらっライブ講座		前掲	

(4) 県庁各課等への情報提供

県民生活の維持向上等に係る施策を企画・立案している県庁各課等へ、業務で必要な資料の貸出しや調べものの支援として情報提供サービスを行った（貸出冊数：828冊）。

また、県出先機関への郵送サービスを行った（貸出冊数：49冊）。

第4 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

1 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存

(1) 資料の計画的な収集

千葉県関係資料の網羅的・系統的な収集に努めるとともに、文書館などの関係機関と連携し、県庁ホームページや文書などにより、官公庁など関係部署へ定期的かつ幅広く寄贈依頼を行った。また、新聞記事や広報などにより資料の刊行情報を入手した際には改めて発行元に寄贈依頼を行い、幅広い収集を行った。

・千葉県資料受入数 購入409 寄贈2,139 合計2,548冊

(2) チラシ等の作成・配布、研修会の開催と広報

千葉県に関する調べ案内（パスファインダー）、千葉県資料のテーマ別資料リスト、菜の花ライブラリーの使用方法の印刷物を作成・配布した。また県内公共図書館等職員を対象に、地域行政資料に関する知識を深め、日常のレファレンス業務や資料の保存・提供の充実を図るため、研修会を実施した。

(3) 菜の花ライブラリー活用講座の実施

県民が千葉県についての情報を効率的に幅広く入手し、千葉県への理解を深めるために、ホームページで公開している千葉県関係データベース「菜の花ライブラリー」の利用方法を学ぶ機会として菜の花ライブラリー活用講座を実施した。

(4) 東日本大震災及び防災関連資料・情報の収集・提供

国立国会図書館と連携し、千葉県における東日本大震災や防災に関する資料・情報の収集・保存等の取組を強化するため、チラシ等により県民に寄贈を呼びかけるとともに、図書館ホームページの東日本大震災千葉県関連サイトによる情報提供に努めた。

東日本大震災に関する資料の収集や提供をテーマとして、市町村立図書館職員等を対象に地域行政資料研修会を開催し、国立国会図書館や県内図書館の事例について学んだ。

2 千葉県関係資料の情報発信の推進

(1) 千葉県関係の情報検索ツールの充実

国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供、千葉県関係の新聞・雑誌記事索引、千葉県に関する調べ案内（パスファインダー）、千葉県資料のテーマ別資料リスト等の情報検索ツールを作成し、レファレンスサービスの充実に努めた。

・千葉県関係として国立国会図書館レファレンス協同データベース27件、パスファインダー3件、テーマ別リスト13件を追加した。

(2) 貴重資料保存のためのデジタル化

地図・郷土誌、県が編集発行した行政資料などのうち、刊行から時間が経過して著作権が消滅した資料を選んでデジタル化を実施した。また作成したデジタル画像データを菜の花ライブラリーで公開し、インターネットを通じて閲覧できるようにした。

なお、国や関係団体のデジタルアーカイブに係る議論の動向を注視することで、法令や制度についての理解を深め、今後の資料デジタル化の方向性を検討中である。

他県の図書館が近年に実施した調査結果の検討や国立国会図書館等の動向調査を行うとともに、文書館等の担当者に呼びかけ有識者を招いて助言を仰いだ。

第5 知の創造と循環を生み出す公共の場

1 博物館など関係機関との連携

博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等と連携して、展示、講座等を実施した。

関係機関が実施する講座等へ、職員を講師等として派遣した。

関係機関との情報共有を進めるため、中央博物館、さわやかちば県民プラザ、文書館の担当者による意見交換会を開催した。

【中央図書館】

- ・中央博物館との連携（ほにゅうるいのおはなし会〈32人参加〉、「ほにゅうるい」「オリンピック・パラリンピック」に関する展示）
- ・さわやかちば県民プラザとの連携（読み聞かせ講座〈1回開催、合計30人参加〉）
- ・法テラス千葉法律事務所との連携（「くらしに役立つ法律判例情報講座」〈5人〉）
- ・千葉県博図公連携事業実行委員会との連携（セミナーの開催等）
- ・文化財課との連携（パネル巡回展示『オリンピック・パラリンピック』と千葉のスポーツ史）（3館）

【西部図書館】

- ・中央博物館との連携（サイエンス・カフェ〈24人〉）
サイエンス・カフェ関連展示「海鳥」
- ・松戸健康福祉センターとの連携（健康・医療情報講座〈39人〉）

【東部図書館】

- ・東総文化会館との連携（ファミリーコンサートでの絵本展示〈35冊〉）
- ・国保旭中央病院との連携（はつらっライフ講座〈19人〉）

2 すべての県民が利用しやすく快適な社会教育施設

(1) 高齢者・障害者サービス

年齢や障害のために図書館利用が困難な方が、資料の提供を受けられるように各種サービスや研修会を実施し、市町村立図書館への普及を図った。また、先進事例を調査・研究し、サービスの推進を図るため、中央図書館児童資料室内に点訳絵本やさわる絵本、LLブックなどバリアフリー資料を集めた「りんごの棚」を設置し、手に取りやすい形での資料提供を行っている。このほか、多言語・多文化サービスについて、関東地区都県立図書館長会議で行った情報収集に基づいて研究を進め、多言語・多文化サービスをテーマにした研修会を実施した。

ア 録音図書の貸出し・製作

希望する録音図書を所蔵資料だけでなく、全国の点字図書館や公共図書館より借り受けて提供した。また、所蔵していない場合は、自館で製作し貸出しを行った。

- ・録音図書の貸出タイトル数：12,739
- ・点訳絵本を2タイトル、録音図書を13タイトル作成した。

イ 対面朗読

図書館音訳者が対面朗読室で、図書館の蔵書や持込みの資料などを朗読した。

ウ 活字資料のテキストデータ化（西部）

利用者へ迅速に情報提供できるよう、希望する活字資料をテキストデータ化してパソコン等で音声化するサービスを行った（テキストデータ編集：5タイトル、PDF化：8タイトル）。

併せて、作業に従事する図書館音訳者等向けに「障害者のための資料デジタル化講座」を開催した。

エ デジタル化録音図書の配信

製作した録音図書を「視覚障害者情報総合ネットワーク（サピエ）」並びに「国立国会図書館視覚障害者用データ送信サービス」へ配信し、利用者がインターネットで利用できる環境整備を推進した。

オ 図書館音訳者の養成

録音図書の製作や対面朗読を行う図書館音訳者を委嘱するとともに、中央・東部図書館では音訳者の資質向上のための講座を開催、西部図書館では、昨年度新たに募集した初級向け連続講座により20名が修了した。

カ 研修会の開催〈西部〉

市町村立図書館等職員の公共図書館における障害者サービスの向上や、特別支援学校教職員への障害者サービスの啓発を目的に、障害者サービス研修会を開催した。

キ 読書支援機器活用講座の開催〈中央、西部〉

活字による読書の困難な方とその支援者や市町村立図書館職員、特別支援学校教職員等を対象に、拡大読書器や活字を読み上げる機器、デジタル録音図書の再生機器の説明会並びにICTを活用した読書の最新動向の紹介等を実施した。

ク サピエ図書館活用講座の開催〈中央〉

インターネットを活用して、録音図書・点字図書オンラインデータベースを体験する講座を開催した。

ケ 高齢者サービスの推進〈東部〉

高齢者サービスの課題を整理し、「はつらっライフ講座」等を開催するとともに、「はつらっライフコーナー」の充実を図った。

(2) 広報・啓発業務

県立図書館の機能・役割を県民に広く周知するために、「要覧」、「千葉文化 千葉県立中央図書館報」、「West Library 千葉県立西部図書館だより」、「知識は旅をする 千葉県立東部図書館だより」、「利用案内」の編集・発行等のほか、次の事業を行った。

ア 県立図書館ホームページの充実

イ オリンピック・パラリンピックをテーマにした展示の実施

ウ ソーシャルネットワーキングサービスを活用した所蔵資料・事業内容紹介

エ FMラジオ放送への出演や広報誌等による所蔵資料・事業内容紹介〈中央〉

オ 職場体験・インターンシップの受入れ〈西部・東部〉

小・中学生、高校生の職場体験、インターンシップの高校生・大学生を受け入れた。

第6 県立図書館の事業点検及び再編準備

1 点検・評価（中間報告）

「千葉県立図書館行動計画」の進捗状況を図書館協議会に報告し、意見をいただくとともに、ホームページに公表して図書館サービスの向上や改善に努めた。

2 利用者アンケートの実施

利用者に対して、図書館利用の満足度等を把握し図書館運営の参考とするために、秋の読書週間にアンケートを実施した。

3 県立図書館の再編準備

平成30年度からプロジェクトチームを設置し、1館集約に向けた物流や研修、資料収集等といった課題の整理及び検討を行った。

- ・ 1館集約後の物流体制について、運営相談での聴取等を通じて得た市町村立図書館等の意見も踏まえ、検討を進めた。
- ・ 県内最後の1冊保存体制の検討について、国内の先行事例等を分析し、個別調査に係る調査項目の検討を進めた。
- ・ 重複して所蔵している図書：狭隘化の著しい中央図書館から優先して除籍作業を行った。

令和2年度事業計画

【重点事業】

※ 〈 〉 以外は県立3館で実施

1 県内図書館の中核としての役割

- ・資料搬送ネットワークの維持・改善、図書館運営相談 (課題の整理・検討)
- ・県立図書館職員の資質向上 (専門研修の受講)
- ・図書館職員研修センターとしての機能強化 (研修内容の充実)

2 子どもの読書活動の推進

- ・子どもの読書活動推進センター機能の充実
(千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)に基づく読書活動の推進〈中央〉)
- ・家庭における読書活動の推進 (子育て支援情報サービスの充実〈中央〉)
(読み聞かせボランティア入門講座の実施〈中央〉)
- ・学校図書館への支援 (学校向け資料やホームページの充実〈中央〉)
(特別支援学校への訪問読書支援の実施)

3 課題解決支援図書館機能の充実

- ・課題解決に必要な資料情報の蓄積及び支援サービスの実施・普及
(パスファインダーや時事問題等に関する資料(情報)案内の作成)
- ・データベースの利用促進 (データベース活用講座の実施)
- ・図書館への来館が困難な利用者に対する情報提供
(郵送による利用登録サービスの検討)【新規】
- ・県庁各課等への情報提供サービスの推進 (利用促進のための広報強化〈中央〉)

4 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

- ・千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存
(オリンピック・パラリンピック関連資料の収集、保存等)
- ・千葉県関係の情報発信の推進 (県民向け菜の花ライブラリー活用講座の実施)
(千葉日報記事索引入力の実施〈西部〉)
(千葉県歴史関係雑誌記事索引入力の実施〈中央・東部〉)
(デジタル化に係る技術動向等の調査研究及び長期計画の策定〈中央〉)

5 知の創造と循環を生み出す公共の場

- ・博物館、文書館等との連携 (講座、展示、資料貸出し等の実施)
- ・オリンピック・パラリンピック開催に合わせた機運の醸成 (展示の企画等)
- ・高齢者サービスの推進 (講座等の実施〈東部〉)
- ・障害者サービスの実施及び市町村立図書館等への普及
(市町村や学校の図書館等に係る会議・研修会での広報)
(障害者サービス研修生の受入〈西部〉)【新規】
- ・図書館の広報戦略の推進 (ソーシャルネットワーキングサービスの活用等)

6 県立図書館の事業点検及び再編準備

- ・千葉県立図書館行動計画の改定
- ・1館集約に向けた課題の整理、検討 (次期電算システム導入に向けた検討)

【業務内容】

第1 県内図書館の中核としての役割

1 市町村の読書環境充実のための支援

(1) 資料搬送ネットワークの維持・改善（図書館協力業務）

ア 資料の図書館間貸出し

市町村立図書館等の求めに応じて、資料の図書館間貸出しを行う。

イ 図書館連絡車・協力車巡回

業者委託により県立3館の間で連絡車を巡回させ、県内の全ての市町村立図書館等に対し、週1回定期的に協力車を巡回し、県立図書館及び市町村立図書館等の相互貸借資料を搬送する。併せて、1館集約を見据えた資料搬送ネットワークの構築について検討を重ねる。

ウ 協力レファレンス

市町村立図書館等からの所蔵調査・資料調査・事項調査等の調査・相談等に対し、外部データベースや図書館資料を使って支援を行う。

エ 高等学校・特別支援学校・大学及び類縁機関等との連携

県内の高等学校・特別支援学校・大学及び類縁機関等と連携し、資料提供や協力レファレンス、研修等を行う。

資料搬送方法：協力車〈西部・東部〉、宅配便〈中央・西部（協力車未巡回校）〉

オ 図書館未設置市町村支援

図書館未設置市町村の公民館図書室など読書施設に対し、資料の貸出しや協力レファレンス、教科書単元・テーマ別資料リスト等活用の紹介〈中央〉、運営相談等の支援を行う。

カ 担当者会議の開催

市町村立図書館等の相互協力担当職員を対象に、相互協力の円滑な推進を図るための会議を開催する。

【資料搬送コース等】

《県立間連絡車巡回コース》

曜日	図書館名
火・木曜日	県立中央 → 県立東部 → 県立西部 → 県立中央 → 県立東部

《中央図書館協力車巡回コース》

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	来館
曜日	水曜日	木曜日	金曜日	火曜日 金曜日
巡回施設	館山市図書館 南房総市図書館 鴨川市立図書館 勝浦市立図書館 御宿町公民館 いすみ市大原公民館 大多喜町立図書館天賞文庫 睦沢町中央公民館 一宮町まちの図書室	鋸南町立中央公民館 富津市移動図書館 君津市立中央図書館 木更津市立図書館 袖ヶ浦市立中央図書館 市原市立中央図書館 長柄町中央公民館 長南町中央公民館 長生村文化会館 白子町青少年センター 茂原市立図書館	ふれあいプラザさかえ 成田市立図書館 富里市立図書館 八街市立図書館 酒々井町立図書館 佐倉市立佐倉南図書館 千葉県教育振興財団 四街道市立図書館 八千代市立中央図書館 習志野市立中央図書館 県立保健医療大学 千葉大学附属図書館本館 〃 亥鼻分館	千葉市

〈宅配・連携校〉

県立船橋東高校 〃 船橋二和高校 〃 鎌ヶ谷西高校 〃 船橋豊富高校 〃 市川昴高校 〃 松戸南高校 〃 船橋高校	県立柏の葉高校 〃 流山北高校 〃 野田中央高校 〃 清水高校 〃 関宿高校 〃 印旛明誠高校	船橋市立船橋高校 松戸市立松戸高校 市川高校 東葉高校 東京学館船橋高校 我孫子二階堂高校 東海大学付属浦安高校 日出学園中学校・高校	県立船橋特別支援学校 〃 市川特別支援学校 〃 特別支援学校市川大野高等学園 〃 松戸特別支援学校 〃 湖北特別支援学校 〃 矢切特別支援学校 〃 つくし特別支援学校 〃 印旛特別支援学校 〃 船橋夏見特別支援学校
---	--	--	---

〈東部図書館協力車巡回コース〉

コース名	Aコース	Bコース	Cコース
曜日	水曜日	木曜日	金曜日
巡回施設	県立八日市場特別支援学校 匝瑳市立八日市場図書館 敬愛大学八日市場高校 県立匝瑳高校 横芝光町立図書館 県立松尾高校 芝山町中央公民館 多古町立図書館 県立多古高校 神崎ふれあいプラザ 県立香取特別支援学校 〃 佐原白楊高校 香取市立佐原中央図書館 県立佐原高校	県立銚子特別支援学校 銚子市立銚子高校 県立銚子商業高校 〃 銚子高校 千葉科学大学 銚子市公正図書館 東庄町図書館 県立小見川高校 〃 東総工業高校 〃 旭農業高校 旭市図書館	九十九里町中央公民館 県立九十九里高校 〃 大網白里特別支援学校 大網白里市図書室 東金市立東金図書館 県立東金高校 〃 東金商業高校 城西国際大学 県立成東高校 山武市さんぶの森図書館 県立飯高特別支援学校

(2) 図書館運営相談

図書館の管理・運営やサービスに関する質問を市町村立図書館等から受け付ける。また、定期的に施設訪問し、図書館運営相談等に応じる。

(3) その他

ア 新聞・雑誌総合目録の整備

市町村立図書館等や文書館行政資料室、県立保健医療大学図書館、さわやかちば県民プラザで所蔵する新聞や雑誌の総合目録を毎年更新してホームページ上で公開する。

イ 読書活動支援

県内の読書活動を推進するため、市町村立図書館等と連携し、読書グループ関係団体への支援協力を行う。また、読書会用テキストとして、同一タイトル10冊をセットにした十冊文庫の整備を進める。

ウ 資料の巡回展示〈東部〉

市町村立図書館等及び学校図書館と連携し、東部図書館で実施した資料展示の巡回展示を行う。

2 図書館職員の研修センター

(1) 職員の資質向上

県立図書館職員の資質向上を目的に館内研修を計画的に実施するとともに、新たな専門研修の受講を含め外部研修会等への職員派遣を積極的に行う。

(2) 研修業務

市町村立図書館等職員に必要とされる専門的な知識・技術についての各種研修会を開催し、全県的な図書館サービスの維持・向上を目指す。また、研修時のアンケート結果等を分析し、研修プログラム充実に必要な課題を整理・検討する。

【中央図書館】

*開催日等は予定

事業名	開催日	会場	参加予定数
公共図書館新任職員研修会	7月15日(水)	千葉県文化会館	50人
公共図書館中堅職員研修会	10月7日(水)	千葉県文化会館	40人
図書館長研究協議会	未定	千葉県文化会館	未定
児童サービス基礎研修会 第1回	6月18日(木)	千葉県文化会館	20人
第2回	7月3日(金)	〃	20人
第3回	7月8日(水)	〃	20人
第4回	9月10日(木)午前	〃	20人
第5回	〃 午後	〃	40人
地域行政資料研修会 第1回	10月16日(金)	中央図書館閲覧室	20人
第2回	12月17日(木)	未定	40人
レファレンス研修会 (レファレンスサービス基礎研修)	6月19日(金) 6月23日(火) 7月1日(水) 7月9日(木)	中央図書館第2会議室	10人 10人 10人 10人
レファレンス研修会 (レファレンスサービス専門研修)	未定	未定	未定
課題解決支援サービス研修会	未定	未定	40人

【西部図書館】

*開催日等は予定

事業名	開催日	会場	参加予定数
公共図書館新任職員研修会	7月22日(水)	西部図書館研修室	15人
障害者サービス研修会	未定	〃	30人
		〃	30人
課題解決支援サービス研修会	7月10日(金) 未定	〃	15人 未定

【東部図書館】

*開催日等は予定

事業名	開催日	会場	参加予定数
公共図書館新任職員研修会	7月17日(金)	東部図書館研修室	15人
課題解決支援サービス研修会	11月(未定)	東部図書館研修室	30人
千葉経済大学短期大学部と千葉県立東部図書館との連携研修会	未定	東部図書館管内の読書施設	20人
学校図書館運営研修会	未定	東部図書館研修室	15人

第2 子どもの読書活動の推進

1 子どもの読書活動の推進拠点

(1) 子どもの読書活動推進センター機能の充実

千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）に基づき、教育委員会、図書館、関係機関・団体、関係者等の連携拠点（センター）として子どもの読書活動の推進を図る。子どもの読書推進に関する施策・サービス等の調査・研究、普及・啓発、資料の収集と整備、担当者の研修及びネットワークの構築（連絡・調整、情報の共有、人や組織の連携等）を行い、センター機能の充実に努める。

(2) 来館者サービス

資料の貸出し、児童書研究のレファレンスのほか、定例おはなし会や親子で楽しむえほんの会、冬のおはなし会を開催する。また、子育て支援情報サービスの充実に努める。〈中央〉

(3) 市町村立図書館等への支援

市町村立図書館等への資料の貸出しや調査相談、運営相談を行う。
「児童サービス基礎研修会」を開催し、市町村立図書館等の児童サービス担当職員の養成に努める。〈中央〉

(4) 読み聞かせボランティアの養成

「読み聞かせボランティア入門講座」を開催するとともに、市町村立図書館等や学校図書館が実施する子どもの本の読み聞かせボランティアを養成する講座等に講師として職員を派遣する。〈中央〉

(5) 出張おはなし会

博物館等関係機関で開催するイベント等に協力し、職員が出向いて行って、おはなし会や読み聞かせを行う。〈中央〉

(6) ヤング・アダルトサービスの実施

県立図書館ホームページ内のヤング・アダルトサービスのページの充実に努める。〈中央〉

(7) 障害者用資料の製作

児童資料の点訳絵本等を製作する。〈中央〉

(8) 広報・啓発業務

以下のような事業を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止する。

- ・子ども読書の日記念展示の開催
- ・子ども読書の日おはなし会の開催〈中央〉
- ・生涯学習課主催の「子ども読書の集い」への出展〈中央〉

2 学校図書館への支援

(1) 高等学校・特別支援学校向け貸出用資料の整備

学校向けの貸出用セット資料を整備し、校長会、教員研修会等で広報し、利用の促進を図る。
資料搬送方法：協力車〈西部・東部〉、宅配便〈中央・西部（協力車未巡回高等学校）〉

(2) 資料の貸出し・運営相談等

学校図書館への資料の貸出しや調査相談、運営相談を行う。
生徒向けに高等学校で実施する読み聞かせ講座に講師として職員を派遣する。〈中央〉

高等学校の担当者を対象に連携、情報交換のため会議を開催する。〈西部〉
学校図書館運営研修会を開催する。〈東部〉

(3) 特別支援学校への訪問による読書支援

希望する学校に職員が訪問し、おはなし会や運営相談等の読書支援を行う。

(4) ホームページでの学校向け情報発信

「学校の先生方へ」等ホームページにより、県内諸学校に向けた情報発信の充実を図る。

第3 課題解決支援図書館機能の充実

1 調査研究に役立つ資料の収集・蓄積と情報の提供

(1) 資料の収集・整理・保管業務

ア 収集

「千葉県立図書館資料収集方針」等に基づき、県民の調査研究活動の支援及び市町村立図書館等への協力・支援に資する資料を収集するものとし、特に3館が一体となって県立図書館全体の蔵書構築ができるよう、以下の点に留意し収集に努める。

中央図書館では、総記、社会科学、言語等の資料を重点的に収集する。また、千葉県関係資料の網羅的・系統的な収集に努めるほか、官公庁をはじめ、関係機関や県内の諸団体の刊行物、個人の自費出版物等の収集・整備に努める。さらに、県内における子どもの読書活動推進のセンター館として、児童資料及び児童書研究資料の充実を図るほか、学校支援用の図書を整備する。西部図書館では、自然科学・技術分野に加えて哲学、芸術等の資料を重点的に収集する。東部図書館では、文学・歴史分野の資料を重点的に収集する。

イ 整理

資料の発注から廃棄までの整理業務は電算システムを活用して行い、装備は、バーコードラベル、背ラベル、不正持出し防止用の磁気テープ、フィルムコーティング等を施し、資料の保全を図る。

ウ 資料整備計画

区 分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計
購入図書資料	5,144 冊	3,800 冊	2,660 冊	11,604 冊
寄贈図書資料	3,000 冊	600 冊	400 冊	4,000 冊
逐次刊行物(購入)	152 タイトル	278 タイトル	194 タイトル	624 タイトル

エ 保管

収集資料を継続的・効率的に維持保存・利用するために、蔵書点検(2月2日～10日)を行う。また、書庫の狭溢化対策として、1館集約を見据え重複資料等の除籍を行う。

(2) 電算業務

ア 業務系システム

平成29年11月より2期目に入った「千葉県立図書館情報システム」を維持管理し、次期電算システム導入に向けた機能充実・改善の検討を進める。

イ インターネット系システム

「千葉県立図書館ホームページ」については、更に利用しやすく利便性が高まるよう整備する。

2 調査研究や政策形成の支援

(1) 調査相談業務(レファレンスサービス)

ア 調査回答

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等の所蔵資料、インターネット情報源、商用データベース等を活用し、口頭や電話、メール、文書等による個人や市町村立図書館等からの調査相談に対する確に回答する。

イ 研修会の開催

市町村立図書館等職員を対象に、課題解決支援サービス研修会やレファレンス研修会を開催する。

ウ パスファインダー(調べ方案内)、時事問題等に関する資料(情報)案内の作成

県民ニーズを把握し、県民が関心を持つテーマに関する調べ方を紹介するパスファインダー(調べ方案内)並びに時事問題や地域の課題等に関する資料(情報)案内等を作成、提供する。

エ レファレンス事例の公開

調査回答事例を国立国会図書館レファレンス協同データベースに提供し、県民がホームページで閲覧できるようにする。

オ 国立国会図書館の提供する「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の利用

「図書館向けデジタル化資料送信サービス」が調査研究に活用されるよう県民への広報を行うとともに、資料の提供、複写サービスを行う。

カ オンラインデータベースの利用促進

オンラインデータベースの利用を促進するため、積極的に広報を行う。また、利用者向けにデータベース活用講座を開催する。

【オンラインデータベース】

	データベース名	中央	西部	東部
総合	ジャパンナレッジLib	○	○	○
	国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス	○	○	○
	国立国会図書館 歴史的音源（配信提供館）	○	○	○
	サピエ（視覚障害者情報総合ネットワーク）	○	○	○
	ポプラディアネット	○	○	○
新聞・雑誌の 記事・論文	日経テレコン21	○	○	—
	朝日「聞蔵2ビジュアル」	○	○	○
	毎索	○	○	○
	ヨミダス歴史館	○	—	—
	中日新聞・東京新聞記事データベース	○	—	—
	産経新聞データベース	○	○	○
	ELNET ELDB	○	○	○
	Web OYA-bunko	○	○	○
	ざっさくプラス	○	○	○
JDream III	○	○	○	
社会科学	D1-Law.com（現行法規・判例体系・法律判例文献情報）	○	○	○
	Nexis	—	○	—
	官報情報検索サービス	○	○	○
	Whoplus	○	○	○
	市場情報評価ナビ MieNa	○	—	—
人文科学	日本文学Web図書館 和歌ライブラリー	○	○	○
	日本古典文学大系本文データベース	○	○	○
	日外e-レファレンス・ライブラリー（世界文学）	○	○	○
	日外e-レファレンス・ライブラリー （児童文学・ヤングアダルト）	○	○	○
自然科学・ 技術・産業	医中誌Web	—	○	—
	最新看護索引Web	—	○	—
	ルーラル電子図書館	—	—	○

「ジャパンナレッジLib」は『国史大辞典』『日本歴史地名大系』『世界大百科事典』『新版角川日本地名大辞典』を含む

(2) 閲覧業務

ア 資料の館内利用・貸出し

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等所蔵資料や、県内外の他の公共図書館及び国立国会図書館、大学図書館等からの相互貸借により、資料の提供や貸出し、複写サービスを行う。

イ 図書館への来館が困難な利用者に対する情報提供

自宅への図書の直接貸出を希望する県民（資料貸出券の発行を受けている方）に対して、図書館に来館せずに郵送（送料自己負担）による図書（一部の資料を除く）の貸出し、返却サービスを行う。また、郵送による利用登録サービスの実施を検討する。

ウ 資料の展示

所蔵資料の特長を活かしたテーマを設定し、定期的な資料展示を行う。

(3) 各種講座の開催

各種講座を実施し、県民の学習機会の拡充に努める。

【講座等実施事業一覧】（研修事業は別掲）

* 開催日等は予定

事業名	中央	西部	東部
図書館ナビ			毎月第4土曜日
データベース活用講座			
新聞関係	未定		
菜の花	未定	未定	9月
ライブラリー			
文学・歴史講座			文学講座10月～11月 歴史講座9月
サイエンス・カフェ		11月7日（土）	
課題解決支援			
くらしに役立つ 法律・判例情報 講座	12月		
はつらっライフ 講座			6月
障害者のための資料 デジタル化講座		未定	
図書館音訳者 養成講座	1月、2月	10月、11月	10月～11月
読書支援機器 活用講座	未定	1月	
サピエ図書館 活用講座	11月		
定例おはなし会	毎週土曜日		
親子で楽しむえほん の会	毎月第2金曜日		
冬のおはなし会	12月13日（日）		
読み聞かせボランテ ィア入門講座	9月～10月、 1月28日（木）		
教職員のための読み 聞かせ講座（さわや かちば県民プラザ共 催事業）	未定		

(4) 県庁各課等への情報提供

県民生活の維持向上等に係る施策を企画・立案している県庁各課等へ、業務で必要な資料の貸出しや調べものの支援として情報提供サービスを行う。また、県出先機関への郵送サービスを行うほか、利用促進のための広報に取り組む。

第4 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

1 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存

(1) 資料の計画的な収集

千葉県関係資料の網羅的・系統的な収集に努めるとともに、文書館などの関係機関と連携し、官公庁など関係部署への寄贈依頼を定期的に行う。また、出版情報について新聞記事等により把握し、幅広い収集を行う。さらに、オリンピック・パラリンピック関連資料の収集、保存等に取り組む。

(2) チラシ等の作成・配布、研修会の開催と広報

千葉県に関するパスファインダー（調べ方案内）、千葉県資料のテーマ別資料リスト、菜の花ライブラリーの使用方法の印刷物を作成・配布する。また県内公共図書館等職員を対象に、地域行政資料に関する知識を深め、日常のレファレンス業務や資料の保存・提供の充実を図るため、研修会を実施する。

(3) 東日本大震災及び防災関連資料・情報の収集・提供

県民の課題解決支援の一環として、千葉県における東日本大震災や防災に関連する資料・情報を収集・整理、保存して国立国会図書館と協力し、資料の提供や図書館ホームページによる情報提供に取り組む。

2 千葉県関係の情報発信の推進

(1) 菜の花ライブラリー活用講座の実施

県民が千葉県についての情報を効率的に幅広く入手し、千葉県への理解を深めるために、ホームページで公開している千葉県関係データベース「菜の花ライブラリー」の利用方法を学ぶ機会として菜の花ライブラリー活用講座を実施する。

(2) 千葉県関係の情報検索ツールの充実

国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供、千葉県関係の新聞・雑誌記事索引、千葉県に関する調べ方案内（パスファインダー）、千葉県資料のテーマ別資料リスト等の情報検索ツールを作成し、レファレンスサービスの充実に努める。

(3) 貴重資料保存のためのデジタル化

地図・郷土誌、県が編集発行した行政資料など、利用者ニーズの高いものからデジタル化を進める。

(4) デジタル化に係る国内の動向調査と長期計画の策定

国立国会図書館や他県のデジタル化に係る技術動向等について調査研究し、デジタル化の長期計画の策定を進める。

第5 知の創造と循環を生み出す公共の場

1 博物館、文書館など関係機関との連携

博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等と連携して、展示、講座等を実施する。
関係機関が実施する講座等へ、職員を講師として派遣する。

2 すべての県民が利用しやすく快適な社会教育施設

(1) 高齢者・障害者サービス

年齢や障害のために図書館利用が困難な方が、資料の提供を受けられるように各種サービスや研修会を実施し、市町村立図書館等への普及を図る。また、先進事例を調査・研究し、サービスの推進に当たる。

ア 録音図書の貸出し・製作

希望する録音図書を、所蔵資料だけでなく、全国の点字図書館や公共図書館より借り受けて提供する。また、所蔵していない場合は、自館で製作し貸出しを行う。

イ 対面朗読

図書館音訳者が対面朗読室で、図書館の蔵書や持込みの資料などを朗読する。

ウ 活字資料のテキストデータ化〈西部〉

利用者へ迅速に情報提供できるよう、希望する活字資料をテキストデータ化してパソコン等で音声化するサービスを行う。併せて、作業に従事する図書館音訳者等向けに「障害者のための資料デジタル化講座」を開催する。

エ デジタル化録音図書の配信

製作した録音図書を「視覚障害者情報総合ネットワーク（サピエ）」並びに「国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービス」へ配信し、利用者がインターネットで利用できる環境を整備する。

オ 図書館音訳者の養成

録音図書の製作や対面朗読を行う図書館音訳者を委嘱するとともに、図書館音訳者の技術向上に資するため、図書館音訳者養成講座を開催する。西部図書館では、2年にわたる初級講座を修了した新たな音訳者の活動を支援し、ステップアップのための講座を開催する。また、活動中の音訳者に対しては、さらなる技術向上のための中級講座を開催する。

カ 研修会の開催〈西部〉

市町村立図書館等職員の公共図書館における障害者サービスの向上や、特別支援学校教職員への障害者サービスの啓発を目的に、障害者サービス研修会を開催する。

キ 読書支援機器活用講座の開催〈中央、西部〉

活字による読書の困難な方とその支援者や市町村立図書館職員、特別支援学校教職員等を対象に、拡大読書器や活字を読み上げる機器、デジタル録音図書の再生機器の説明会並びにICTを活用した読書の最新動向の紹介等を実施する。

ク サピエ図書館活用講座の開催〈中央〉

インターネットを活用して、録音図書・点字図書オンラインデータベースを体験する。

※「サピエ」とは、視覚障害者を始め、目で文字を読むことが困難な方々に対して、さまざまな情報を点字、音声データで提供するネットワーク（当該ホームページから引用）

ケ 高齢者サービスの推進〈東部〉

高齢者サービスの課題を整理し、「はつらっライフ講座」等を開催するとともに、「はつらっライフコーナー」の充実を図る。

コ 障害者サービス研修生の受入〈西部〉

市町村立図書館の障害者サービス充実のため、職員を受け入れて研修を実施する。

(2) 広報・啓発業務

県立図書館の機能・役割を県民に広く周知するために、「要覧」、「千葉文化 千葉県立中央図書館報」、「West Library 千葉県立西部図書館だより」、「知識は旅をする 千葉県立東部図書館だより」、「利用案内」の編集・発行等を行うほか、次の事業を行い、図書館の広報戦略を推進する。

ア 県立図書館ホームページの充実

イ オリンピック・パラリンピックをテーマにした展示を企画し、県立3館及び市町村立図書館等での巡回を進め、機運の醸成を図る。

ウ ソーシャルネットワーキングサービスを活用した所蔵資料・事業内容紹介

エ 千葉県資料の県民向け広報の実施〈中央〉

オ 広報誌等による所蔵資料・事業内容紹介

カ 職場体験・インターンシップの受入れ〈西部・東部〉

小・中学生、高校生の職場体験、インターンシップの高校生・大学生を受け入れる。

第6 県立図書館の事業点検及び再編準備

1 点検・評価（中間報告）及び行動計画の改定

「千葉県立図書館行動計画」の進捗状況を図書館協議会に報告し、意見をいただくとともに、ホームページに公表して図書館サービスの向上や改善に努める。特に、令和2年度は本行動計画の最終年度に当たることから、その改定作業を進める。

2 利用者アンケートの実施

図書館利用の満足度等利用状況を把握し、図書館運営の参考とするため、秋の読書週間に実施する。

3 県立図書館の再編準備

平成30年度からプロジェクトチームを設置し、1館集約に向けた物流や研修、資料収集等といった課題の整理及び検討を行っており、特に、令和2年度は次期電算システム導入に向けた検討を進める。

千葉県立図書館行動計画(平成30～令和2年度)進捗状況(令和元年度3月末現在)

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			主な取組の進捗状況(今後の見通し含む)	評価指標	R2 目標値	実績値		R1年度概況
			H30	R1	R2				H30	R1	
1	図書館ネットワークの発展	【市町村立図書館等への貸出し、相談事業等の推進】 ・市町村立図書館等を通じた貸出しについて広報を進める。 ・毎年全市町村を訪問し、図書館の運営等についての調査相談を行う。	▶	▶	▶	・全市町村を訪問し、各図書館の課題について運営相談を行った。中央:1回目完了、2回目は希望のあった12館のみ実施 西部:11市立図書館実施 東部:年2回実施 ・3館それぞれ相互協力担当者会議を開催し、相互協力業務の確認や情報交換を行った。 ・中央図書館では、県内市町村立図書館等読書施設に対して、台風による被災状況及び新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館等の状況を調査し、ホームページに掲載した。	市町村立図書館等への貸出冊数	75,000	72,468	69,077	市町村立図書館等への貸出冊数については、前年度の4.7%減となり、目標値に届かなかった。 新型コロナウイルスによる県内図書館の休館の影響もあるが、目標値の9割方の貸出しは維持している。今後も市町村立図書館等のニーズに沿った支援を進めていく。
		【新館における物流体制の検討】 ・現状の課題等について市町村立図書館等に聴取し、新館整備に向けて検討を進める。	▷	▷	▷	・1館集約後の物流体制について、運営相談での聴取等を通じて得た市町村立図書館等の意見も踏まえた案を作成し検討を進めている。 ・県立図書館資料の受取・返却場所の拡張について検討を開始している。 ・運営相談での3館共通アンケート(聴取)実施に向けて検討中。					
		【県内最後の1冊保存体制の検討】 ・国内の先行事例について調査を行う。 ・現状の課題等について市町村立図書館等との情報交換を進める。	▷	▷	▷	・県内最後の1冊保存体制について、国内の先行事例など文献調査を行った。今後は個別調査のための調査項目をまとめ、図書館や団体において、事業に取り組んでいる又は検討している内容について調査する予定。また県内市町村立図書館等への意見聴取を検討している。					
2	図書館職員研修センター機能の強化	【経験別、分野別研修の実施】 ・研修結果の分析をし、研修プログラムの充実を図る。	▶	▶	▶	・新任職員、中堅職員、児童・地域・調査研究・障害者・課題解決支援の各研修を実施した(延べ20回開催)。 ・各研修時のアンケート結果を分析し、課題の整理を進めている。	研修受講者の満足度	90.0%	90.6%	90.6%	研修受講者の満足度については、前年度と同数値であり、目標値を上回った。
		【研修機会の拡充】 ・開催方法を検討し、地域別開催を実施する。	▷	▷	▶	・中央図書館主催研修事業の開催場所について検討し、県文化会館、県立中央博物館を会場とした。一部の研修会について東部図書館を会場として実施した。					
		【研修内容のアーカイブ化】 ・国内の事例等について調査し、課題等の洗い出しを行う。	▷	▷	▷	・研修内容のアーカイブ化(ホームページでの公表等)について、他県等に対する調査項目など今年度も継続して検討している。また、研修内容や事業報告については、ホームページでの公表を開始している。					
3	子どもの読書環境整備の推進	【読み聞かせ講座の実施】 ・図書館未設置市町村等で読み聞かせ講座を実施する。 ・講師養成のためのカリキュラムについて研究を進める。	▶	▶	▶	・読み聞かせボランティア入門講座を2回実施した。長南町(25名参加)、多古町(29名参加)。 ・ボランティア養成講座を実施している都道府県のカリキュラム等について、児童図書館員養成講座(日本図書館協会)に参加し、他館の取組等最新情報を収集した。	読み聞かせ講座の受講者数	80	105	54	読み聞かせ講座の受講者数については、前年度の48.6%減となり、目標値を下回った。令和2年度は新型コロナウイルスの状況等にもよるが、講座開催自治体との連携を密にし、広報に努めていく。
		【子育て支援情報サービスの推進】 ・子育てに資する図書等を収集するとともに、県関係機関と連携しながら子育て支援情報の発信を進める。	▶	▶	▶	・子育てに関する新着図書案内を作成し、館内で配布している。 ・生涯学習課や子育て支援課と連携し、子育てに関するパンフレット等の収集、提供を進めている。					
		【児童書の網羅的収集の検討】 ・市町村立図書館等が児童書を購入する際の参考となるような収集方法について、国内の先行事例等の調査を行う。	▷	▷	▷	・児童書の網羅的収集について、国内の先行事例など文献調査を行った結果を元に、実施している図書館への個別調査を行う予定で、聴取項目を検討し、案を作成した。					
	子どもの読書活動の推進	【県立学校等への貸出し、相談事業等の充実】 ・県立学校等の相互貸借について実態調査を進める。 ・要望の多い貸出セットの重複購入を検討する。 ・生徒向け読み聞かせ講座、図書館活用講座等を実施する。	▶	▶	▶	・県立学校等の担当者会議や運営研修会、学校訪問等を実施することにより、相互貸借などの実態調査を進めた。 ・要望の多い貸出セットや改訂が必要なセットについて調査検討を進めた。要望の多い内容を11セット新規作成した。 ・中央図書館管内の未登録校へ事業説明を行い、新規登録を進めた。 ・運営相談を実施した(東部:高校21校・特別支援学校6校に対し年2回、西部:希望校2校に対し実施)	県立学校等への貸出冊数	31,000	32,999	24,359	県立学校等への貸出冊数については、前年度の26.2%減となり、目標値を下回った。学校への広報はホームページに加え、紙媒体による積極的な広報に力を入れ、引き続き啓発資料の配付に努めていく。
		【特別支援学校への読書支援の充実】 ・学校訪問等でニーズと支援方法を探り、読書支援を継続、推進する。	▶	▶	▶	・特別支援学校21校へ訪問し、絵本の読みかきかせを中心に「おはなし会」を実施した。その際、未登録校には登録方法を案内し利用促進を図った。 ・中央図書館では、高校への読み聞かせ講座講師派遣を行った(11校実施)。 ・西部図書館では昨年度に引き続き、希望のあった高等部2校で「図書館の使い方の授業」を実施。					
		【市町村立図書館等と小中学校との連携への支援】 ・市町村立図書館等と小中学校との連携状況を調査する。 ・小中学校支援モデル事業として貸出セットの作成を検討する。 ・図書館未設置市町村等が小中学校との連携を推進できるよう、資料の支援に努める。	▷	▷	▷	・市町村立図書館等と小中学校との連携状況について運営相談での調査を集約中である。また、貸出しの需要について把握し、資料活用の推進を図った。 ・図書館未設置市町村への訪問時に小学校教科指導で使える資料リストとその図書見本を持参し、管内小学校等への周知を依頼した。中学校用リストについても作成次第周知していく予定。小中学校への資料貸出数は平成30年度よりも100冊以上増加した。					

千葉県立図書館行動計画(平成30～令和2年度)進捗状況(令和元年度3月末現在)

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			主な取組の進捗状況(今後の見通し含む)	評価指標	R2 目標値	実績値		R1年度概況	
			H30	R1	R2				H30	R1		
4	課題解決支援図書館	(1) 課題解決支援、調査研究機能の強化	【課題解決支援サービスの充実】 ・法律情報支援サービス、医療情報支援サービス、シニア支援情報サービス等を推進する。 ・個人への郵送貸出サービスを実施する。 ・行政課題等の解決に資する資料を収集、提供する。	▶	▶	▶	・西部図書館の医療・健康情報コーナーでは、平成30年度より国立がん研究センターから寄贈を受けているがんに関する資料のコーナーを設置し、令和元年度も改訂分が送付され配架した。 ・東部図書館の「はつらつライフなび」コーナーでは、生活習慣病の予防・糖尿病、大活字本で読むミステリー等の展示を4回実施した。 ・個人への郵送貸出サービスを平成30年9月から開始し、令和元年度は15件34冊の利用があった。 ・行政課題等の解決に資する資料は適宜収集、提供に努めている。	課題解決支援のための情報発信件数 ・レファレンス協同データベース ・パスファインダー ・時事情報ブックリスト等	90	112	103	課題解決支援のための情報発信件数については、前年度の8.0%減となったが、「図書館から世界(ニュース)が見える」の創刊もあり、目標値は上回った。
			【レファレンス事例の一般公開】 ・国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供を進める。	▶	▶	▶	・レファレンス協同データベースに千葉県関係以外の事例を54件登録した。					
			【県民向け講座の実施】 ・図書館活用講座、データベース活用講座等を実施する。	▶	▶	▶	・課題解決支援講座として、各館の特徴を活かし、暮らしに役立つ法律・判例情報講座、健康・医療情報講座、はつらつライフ講座を開催した。また、3館のデータベース活用講座で菜の花ライブラリー活用講座を4回実施した。 ・その他、図書館ナビを4回、サイエンスカフェ、歴史講座を開催した。					
			【時事問題等に関する新たな情報提供サービスの実施】 ・時事問題や地域の課題等に関する資料の紹介、ブックリスト等の作成、提供を行う。	▷	▶	▶	・時事問題に関するものとして、「メダリストの本(オリンピック・パラリンピック)」「宇宙の本(月面着陸50周年)」など各館で時宜にかなった展示を定期的に行うとともに、展示リスト23件を作成、提供した。 ・また、「音楽がもっと楽しくなる本」など児童書関連の展示リスト11件、教科書単元・テーマ別リストを4件を作成した。 ・時事問題等に関する新たな情報提供サービスとして、「図書館から世界(ニュース)が見える」を創刊し、4件を作成、公開した。					
			【電子書籍や商用データベースの動向調査】 ・都道府県立図書館の導入事例や市場動向等について調査を進める。	▷	▷	▷	・電子出版制作・流通協議会の発表などを参考としながら、電子書籍の動向調査を進めている。今年度は他県の先行事例についても事例発表等を元に調査した。 ・先進館の導入事例などを参考に、県民の調査・研究に資する商用データベースの追加導入を検討した(令和元年度13種類を追加導入済み)。					
			【新館整備に向けた資料管理の検討】 ・重複図書の除籍を進める。 ・重複雑誌の除籍と書誌修正を進める。 ・新館における資料の収集、整理方法について検討を進める。	▶	▶	▶	・中央図書館、東部図書館で重複図書の除籍準備を進めており、令和元年度、中央図書館では汚破損や不明を含め、重複除籍を行った。東部図書館では選定を行った。 ・雑誌については、西部・東部図書館間の重複分タイトルを除籍した。 ・1館集約に向け、令和元年度から分野ごとの分担収集を開始し、業務の効率化を図った。引き続き集約後の図書収集や整理方法等のあり方について、文書館等とも協議しながら検討を進める。					
5	千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	(1) 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進	【千葉県関係資料の網羅的収集】 ・官公庁など関係部署への寄贈依頼を定期的に行う。 ・出版情報について新聞記事等により把握し、幅広い収集を行う。	▶	▶	▶	・県庁ホームページや文書などで幅広く寄贈依頼を行うとともに、新聞記事や広報などで資料の刊行情報を入手した際には改めて発行元に寄贈依頼を行うことにより、千葉県関係資料の網羅的収集に努めている。 ・千葉県資料受入数(令和元年度) 購入 409冊 寄贈 2,139冊 合計2,548冊	千葉県に関する情報発信件数 ・レファレンス協同データベース ・パスファインダー ・テーマ別ブックリスト等	20	38	43	千葉県に関する情報発信件数については、年々発信の充実を図り、前年度の13.2%増となり、目標値を上回った。
			【千葉県関係の情報検索ツールの充実】 ・国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供や新聞雑誌記事索引、人名索引、デジタルアーカイブ、パスファインダー、テーマ別リスト、目次情報など、千葉県関係の情報に到達しやすい環境を整備する。	▶	▶	▶	・千葉県関係として国立国会図書館レファレンス協同データベース27件、パスファインダー3件、テーマ別リスト13件を追加した。					
			【千葉県資料のデジタル化】 ・地図や郷土誌、県が編集発行した行政資料など利用者ニーズの高いものからデジタル化を進める。 ・国立国会図書館や他県の動向について調査を行い、デジタル化の指針を改定する。	▶	▶	▶	・千葉県関係資料の中から刊行年が古い不定形の資料を選定し、デジタル化してホームページで公開した。 ・他県の図書館が近年に実施した調査結果の検討や国立国会図書館等の動向調査を行うとともに、文書館等の担当者に呼びかけ有識者を招いて助言を仰いだ。 ・引き続きデジタル化すべき資料の把握に努め、デジタル化技術や関連法の調査を行い、デジタル化の長期計画等を作成する。					
			【インターネット上の地域行政資料の動向等調査】 ・ポーンデジタル資料(初めからデジタルデータとして作成されたコンテンツ)やオープンデータ(二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータ)の収集、提供など、国内の動向について調査を行う。	▷	▷	▷	・全国の先行事例等を参考に、インターネット上の地域行政資料の収集・提供の方法等について検討を行う予定である。 ・なお、著作権者の許諾を得られた資料については当館でプリントアウトし、蔵書とした(令和元年度)231冊					

千葉県立図書館行動計画(平成30～令和2年度)進捗状況(令和元年度3月末現在)

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			主な取組の進捗状況(今後の見通し含む)	評価指標	R2 目標値	実績値		R1年度概況
			H30	R1	R2				H30	R1	
6 知の創造と循環を生み出す公共の場	(1) 博物館など関係機関との連携の推進	【関係機関と連携した事業の実施】 ・博物館や文書館、県民プラザ等と連携して、展示、講座等を実施する。 ・関係機関が実施する講座等へ、職員を講師として派遣する。	▶	▶	▶	・関係機関と連携して実施した展示、講座等は次のとおり 中央博物館:「ほにゅうるい」のおはなし会(2回14名参加)、ミニ展示「縄文土器」、ミニ展示「刀剣特集」、展示「本であおう いろいろなほにゅうるい」、児童サービス基礎研修会「図鑑の調べ方・使い方」(54名参加)、課題解決支援サービス研修会「ウィキペディアタウン 中央博物館と青葉の森公園」、サイエンスカフェ「海鳥目線でまるごと堪能—房総の海の魅力」(24名参加) 県民プラザ:読み聞かせ講座(30名参加) 松戸健康福祉センター:健康・医療情報講座(39名参加) 環境生活部県民生活・文化課:ガラス展示「東総地域のちば文化資産」 市川市文学ミュージアム:ガラス展示「人物・土地・作品で見る永井荷風」 教育庁文化財課:パネル巡回展示「オリンピック・パラリンピックと千葉のスポーツ史」 千葉県博図公連携事業実行委員会:お浜降りセミナー(2回77名参加) 文書館:歴史講座「江戸時代のアウトローと関八州取締」 東総文化会館:ファミリーコンサートでの絵本展示 国保旭中央病院:はつらつライフ講座「生活習慣病と糖尿病」 法テラス千葉法律事務所:くらしに役立つ法律・判例情報講座 高橋順子を囲む会:第4回旭いいおか文芸賞「海へ」(資料展示・審査員派遣・会場提供) 科学道100冊委員会(理化学研究所と編集工学研究所との合同プロジェクト): 「科学道100冊」展示	連携事業の実施回数	10	18	25	連携事業の実施回数については、前年度の38.9%増となり、目標値を上回った。
		【関係機関との連絡調整会議の実施】 ・博物館や文書館、県民プラザ等関係機関との情報共有を進める。	▶	▶	▶	・中央博物館、さわやかちば県民プラザ、文書館の担当者間で連携事業などについて意見交換会を開催した。					
		【オリンピック、パラリンピック関連事業の実施】 ・県関係機関と連携しながらオリパラ関連資料を収集、提供し、展示など県民への広報普及に努める。	▷	▶	▶	・各館で文化財課の主催するチバミュージアムフェスタ2020～千葉県立美術館・博物館展覧会パネル巡回展示「『オリンピック・パラリンピック』と千葉のスポーツ史」に協力し、パネル展示を行った。 ・パネル展示に合わせて、中央図書館千葉県資料室で「千葉県とオリンピック・パラリンピック東京大会に向けて」というテーマで展示を行った。 ・東部図書館に平成31年2月設置したオリンピック・パラリンピック資料展示コーナーをより充実したものとするため、展示替えを3回行い、併せて大会に関連するリーフレット等も設置した。この展示資料をベースに、県内市町村立図書館への巡回展示メニューに「オリンピック・パラリンピック」を追加し、令和元年度は5件の貸出しを行った。					
	(2) 図書館利用が困難な人々へのサービスの充実	【障害者用コンテンツの充実】 ・点訳絵本、録音図書等の作成を進める。	▶	▶	▶	・点訳絵本を2タイトル、録音図書を13タイトル制作した。	録音図書の貸出タイトル数	14,000	13,532	12,739	録音図書の貸出タイトル数については、前年度の5.9%減となり、目標値に届かなかった。なお、近年、録音図書の貸出しは、サビエ図書館等のダウンロードに利用がシフトつつある。今後も市町村立図書館等でのサービス充実を図る。
		【障害者サービスの普及】 ・県内図書館向け研修や県民向け講座等を充実する。	▶	▶	▶	・読書支援機器活用講座(4回、58名参加)、障害者のための資料デジタル化講座(50名参加)、障害者サービス研修会(54名参加)、サビエ図書館活用講座(11名参加)を開催した。 ・西部図書館では新たに音訳者を募集して養成するための初級向け連続講座を平成30年度から開催しており、令和元年度は11月末までに12回(218名)開催した。中央図書館、東部図書館では音訳者の資質向上のための講座(2回、19名参加)を開催した。					
		【新しいサービスの研究開発】 ・多言語社会や発達障害者への対応など新しいサービスの研究開発を進める。	▷	▷	▷	・中央図書館児童資料室内に点訳絵本やさわる絵本、LLブックなどバリアフリー資料を集めた「りんごの棚」を設置し、手に取りやすい形での資料提供を行っている。 ・多言語・多文化サービスについて、関東地区都県立図書館長会議で行った情報収集に基づいて研究を進め、令和元年度は多言語・多文化サービスをテーマにした研修(23名参加)を実施した。					

※スケジュール凡例

▷: 検討段階

▶: 実施段階

新県立図書館・県文書館複合施設の現在の整備状況について

1 令和元年度に実施した整備事業

- (1) 現況測量調査
第1次測量：高低を除く水平方向の測量
- (2) 樹木調査
令和2年度に行う立木の伐採・移植のための事前調査
- (3) 埋蔵文化財確認調査
埋蔵文化財本調査の範囲、必要性を判断する調査

2 令和2年度整備事業（予定）

- (1) 立木の伐採・移植
事業予定地にある約600本の樹木の伐採及び移植
- (2) 埋蔵文化財調査
- (3) 基本設計業務委託